NIPPON KOEI

News Release

日本工営株式会社

2017 年 10 月 27 日

# 日本工営　ミャンマー工学会との国際交流協定（MOU）期間を延長

## ～　若手技術者を対象とした学習プログラムを提供　～

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、社長：有元龍一、以下「日本工営」）は、ミャンマー工学会（Myanmar Engineering Society）と国際交流協定（Memorandum of Understanding 、以下「MOU」）の期間延長に係る締結式を 10 月 25 日にミャンマー国ヤンゴンにて行いました。

ミャンマー工学会は同国を代表する学術団体であり、当社は民間開発コンサルタントとして初となる同学会との MOU を 2012 年 11 月に締結しました。その後、当社が開発したシステムである NK-GIAS※の普及と利用促進に向けて、ミャンマーの若手技術者の参加のもと、当社主催の講習会を 1 年に 1 回のペースで開催してきました。当社がこれまで実施してきた講習会による学習プログラムが好評を博したことが今回の 5 年間の期間延長につながっており、当社は引き続きミャンマー国内での NK-GIAS の普及と利用促進に努めていくことになります。

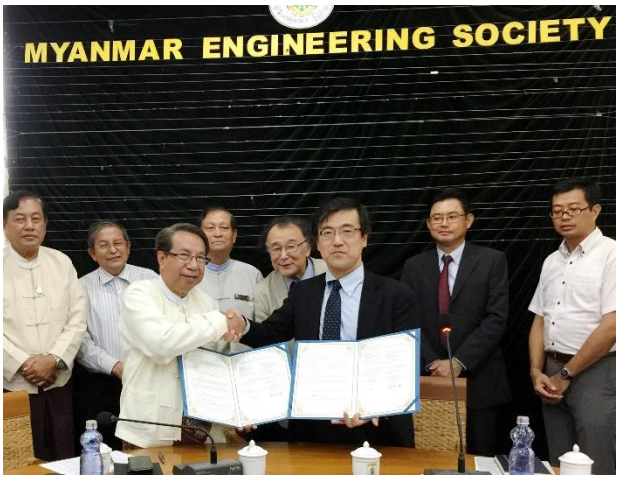
なお、10 月 23 日から 3 日間、6 回目となる講習会をヤンゴンで開催し、期間中は社会人・学生をはじめとする 37 名が参加しました。講習会では当社グループ会社の現地法人 MYANMAR KOEI INTERNATIONAL LTD.の社員がミャンマー語で講師を務めたことからも、着実に同国の若手技術者へ NK-GIAS の技術が浸透してきていることが窺えます。また、同講習会には別途当社と MOU を結んでいるヤンゴン工科大学からの参加もあり、今後ともミャンマー工学会と日本工営の三者間の技術交流と人材交流を活発化させていく考えです。

※日本工営の解析プログラムを搭載した当社独自の GIS（Geographic Information System：地理情報システム）

**■日本工営の MOU 締結の実績:**

当社はこれまでに国内外の学術研究機関と 12 件の MOU を締結しています。

①韓国電力研究院（2008 年）、②アジア工科大学院（2009 年）、③台湾国立成功大學防災研究センター（2010 年）、④中華人民共和国清華大学（2011 年）、⑤カンボジア工科大学（2011 年）、⑥ミャンマー工学会（2012 年）、⑦スリランカペラデニア大学（2013 年）、⑧英国ウォリングフォード水理研究所（2014 年）、⑨インド工科大学 カラプア校（2015 年）、⑩台湾シノテック社（2016 年）、⑪東京工業大学（2017 年）⑫ヤンゴン工科大学（2017 年）




10 月 25 日ミャンマー国ヤンゴンにて調印式を実施

中央左：ミャンマー工学会 会長 Aung Myint(アウン・ミン)氏

中央右：当社 中央研究所 所長 小野寺 勝

—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部　コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454　Email：　info@n-koei.co.jp　ホームページ：https://www.n-koei.co.jp/